

2024(令和4年度) 入学前特別講座 II 「英語講座」 報告書

報告者: 山城 智史

今年も前年度に引き続き、2月12日から17日まで、4日間にわたる「英語講座(ワークショップ)」を開講しました。今回の講座の目的は、名桜大学での最初の年に学生が履修するベーシックイングリッシュと英語コミュニケーションの科目を学生に体験させる機会を与えることでした。学生が実際に使用する教科書(Smart Choice 3)から1ユニットを教材とし、本学の通常の英語クラスとほぼ同じ方法で授業を実施しました。また、言語学習センター(LLC)のチューターが新入生の学習サポートのために参加しています。今回、このアプローチを選択した理由は、主に3つありました。(1) 限られた時間では高校で学んだ英語を復習する時間が十分に取れない(2) このアプローチが入学前特別全体の目標と一致している(3) 入学に向けてよりよく準備し、英語クラスでよりリラックスして臨めるように、学生に求められる大学レベルの英語クラスの特徴(使用される英語の量、ペース、アクティビティの種類)などをよく理解してもらう

1. スケジュール/出席

1.1 授業スケジュール

日付	時間	主な活動	
2月12日	60分	事前テスト	
2月13日	90分	基礎英語クラス1(スマートチョイス3、p.4-5)	LLC チューター3名
2月14日	150分	基礎英語クラス2(スマートチョイス3、p.6-7)	LLC チューター4名
2月17日	150分	ポストテスト、英語コミュニケーションボードゲーム	

1.2 4日間の出席状況 (対象73名)

2月12日 69名(94.5%) 2月13日 65名(89.0%) 2月14日 64名(87.6%) 2月17日 55名(75.3%)

2. 内容

2.1 事前テストと事後テスト

Smart Choice 3の単一ユニットの指導に関する入学前ワークショップの有効性を測るために、事前テストと事後テストをGoogleフォームを使用して実施しました。テストは、文法(現在完了進行形)、一連の語彙(自由時間のアクティビティ)、ターゲットの文法を含んだリスニング及び、リーディング、ライティング(100~150words)の5つのセクションで構成されています。

セクション	質問	形式
リスニング	5	選択問題
語彙	10	

文法	10	
読む	10	
書き込み	100～150 語	記述問題

2.2 「英語講座」の様子

「英語講座」では、本学において1年次の必修科目である「ベーシックイングリッシュ」の授業を大学レベルでの英語で、模擬的に行いました。初回授業（2月13日）では、（1）自己紹介、（2）ウォームアップと雑談、（3）教科書を使ったアクティビティ、（4）（現在完了進行形を用いた）オリジナル会話のビデオ録画、（5）文法の復習（現在完了進行形）を行いました。2回目授業（2月14日）では、（1）ウォームアップ、（2）文法練習、（3）リスニング、（4）（現在完了進行形を用いた）情報ギャップスピーキングのアクティビティを行いました。



画像: チューターや教師の支援による基礎英語の授業

3回目(2月17日)の授業では、(1)事後テスト、(2)英語コミュニケーション(もう一つの必修科目)の紹介を行いました。英語コミュニケーションでは、オリジナルのボードゲームを作るなど、いくつかのプロジェクトに取り組みます。この授業では、新入生たちに英語コミュニケーションの授業がどのようなものをイメージしてもらうために、先輩学生たちが過去に作製したボードゲームに挑戦する機会を提供しました。ゲームの遊び方の説明ビデオや説明はすべて英語で書かれています。ボードゲームのルールについて、グループ内で、活発にディスカッションが生まれ、またゲームの勝敗結果が出たときには大きな歓声が上がリ、英語の学習を通して、大いに盛り上がった活動となりました。入学前に、北部圏内学生同士と親しくなるという、入学前特別講座の目的達成にもつながったのではないかと考えている。



画像: 英語コミュニケーションの授業でボードゲームをする生徒たち

3. 結果

3.1 事前テストと事後テストの結果

多肢選択問題のスコアは、正答数で比較しました。記述問題（ライティング）は、英語講座で学習した語彙と文法の理解度を表す単語数で比較することとしました。

多肢選択問題の結果

セクション	領域	合計	事前テスト	事後テスト	スコア増減	
1	リスニング	5	3.2	2.7	-0.5	-10%
2	語彙	10	5.1	6.4	1.3	13%
3	文法	10	5.2	7.1	1.9	19%
4	リーディング	5	2.5	2.7	0.2	2%

結果は、予想どおりほとんどの分野で向上を示しており、特に文法と語彙のセクションでは顕著にみられます。リスニングセクションやリーディングセクションのわずかな変化は、事前テストと事後テストの問題難易度の差が影響したと思われます。また、両方の問題数(5)が少なく、他のセクションよりもその能力を測る内容が十分なではなかったかもしれません。

ライティングの結果

セクション	領域	合計	事前テスト	事後テスト	語数増加	改善
5	ライティング	100-150	43.3	55.2	11.9	7.9%

ライティング セクションの平均語数は 11.9 語増加しました。スピーキング活動でライティング問題のアイデアを膨らませるための間接的なライティング指導は行ったが、実際に書くことの直接的なライティング指導が行われなかったことを考えると、このわずかな増加は、予想通りでした。次回に実際に「書く」指導を取り入れることで、大きな改善が期待されます。また、興味深いのは、ライティングセクションの無回答の生徒数です。事前テストでは、ライティングセクションの無回答数は8名でしたが、事後テストでは無回答は1名だけでした。仲間同士で、様々な言語活動を経験し、英語の知識や積極的に学ぼうとする意欲が増してきたと考えられます。

4. 受講生からの振り返り

学生たちに、「今日は何をしましたか?」「どうでしたか?」「レッスンについてどう思いましたか?」という質問に沿って、各授業の最後に、振り返ってもらいました。この振り返りは、受講生が授業のどの面を難しく感じたか、どの面を魅力的だと感じたか、そして何を改善してほしいと思ったかを理解するために授業者にも、有効な情報になると考えています。以下は、その記振り返りの抜粋です。

今日は、現在完了進行形の文法を勉強し、リスニング活動、スピーキング活動をした。両方の活動は、難しかったが、グループ、ペアで助け合いながらできてよかった。今日の授業を受けて、特にリスニングができないことを痛感した。

今日は、リスニング活動やペア学習をした。リスニングは概ね、聞き取れたが、結構難しかった。また、英語で質問したり、会話をするのも難しかった。積極的にわからなかったところを友達やチューターの方に聞いたりできたので良かった。次の時間も積極的に授業に参加したい。

現在進行完了形について、理解を深めることができた。自分から、積極的に話しかけるように頑張った。もっと現在完了進行形を使った疑問文を作って、積極的に英語で話したい。難しかったが、楽しかった。

現在完了進行形についての学習、復習を行った。少し長めのリスニングをするのは、難しいなと思ったので、もっと頑張りたいと思いました。パートナーと協力して、学習できたのが、良かったです。次回は、問題を解くスピードをもっと速くできるようにしたい。

今日は現在完了進行形について、学ぶことができました。ペアで協力できたので、楽しかったです。現在完了進行形は、理解して使ってみて、いろんな状況に応用ができるのがわかったので普段でも使ってみたいと思いました。もっと、リスニングにしっかりと聞いて、大学で講義を受けたい。

難しかったので、一人では全然できなかったが、次は自分一人でもできるようになりたい。

I listened in English. It is very difficult. I think it is important to communicate with a partner. Speaking English is fun!

I listened to the conversation in Smart Choice Unit 1 and talked with my partner. Listening is very difficult. I want to play games in English.

...have been ~ing の応用問題とリスニングをした。ペア学習では、お互いに質問や応答の練習ができた。リスニング活動では、聞き取れる単語はあるが、全体的には、内容がわからなかったので、難しかった。リーディングもうまくできなかつた。聞き取りと読み取りを上達させたい。

リスニングで、3回ほど聞きましたが、やはり聞き取りは難しいです。Student A、B(インフォメーションギャップ)の活動では、これまでに学習した現在完了進行形を実際に使ったり、パートナーとこういう言い方をしたらいいんじゃないかなどと、協力して完成することができた。もっと、グループのメンバーと話せたらいいなと思った。

今日は、英語で質問したり、文章を読んだり、また現在完了進行形の文法問題を問いたり、英語にたくさん触れることができたので、良かったです。相手に質問するとき、どう質問すればいいかが、わからなかったもので、次回はうまく質問できるようにしたい。

今回の講義で、リスニングをしながら、問題を解いて、理解力を高めることができた。ペアワークで実際に、今日学んだ文法を使うことができた。長い会話を聞き取ることは難しかった。

最近していることを、have been ~ing で質問したり、答えたりすることができた。楽しかった。質問の仕方がむづかしかったが、できるようになった。Have been ~ing がわかれば、会話の幅が広がって、便利な表現だと思った。

Have been ~ing の復習はできたが、他の文法と混同しそうになるので、point となる部分にマークしながら、問題を解くようにしたい。また、ペアワークを通して、教え合いながら、質問し、答えることができた。

Have been ~ing の文法を学習し、使い方を学んだ。Listening が特に難しかった。パートナーと会話しながら、問題を解き理解を深めた。

リスニングでわからない所があったが、ペア活動で解決できたので、よかった。先生や先輩が優しく教えてくれて、よかった。

Pair work and Listening とても楽しかった。ペアワークがうまくいった。

パートナーと情報交換したり、パーソナルプロフィールズ（スマートトーク）の活動で、お互いに教え合った。英語や日本語で楽しく会話ができて楽しかった。今日みたいに、すらすら英語を話せるようになりたいと思った。今回学んだ現在完了形を使ってもっと話せるようになりたい。

ペアで協力しながら、学習したり、問題を解いたりすることができた。リスニングのときに、眠くなり集中することができなかつたので、どんなときも集中を切らすことがないように心がけたい。難しいと感じたが、あきらめずに解いて、英語を楽しめた。

今日は、2日間で学んだ現在完了の文法や、リスニングとライティングのテストを受けた。後半は、名桜大学のイングリッシュコミュニケーションの授業で、学生が作成したボードゲームをした。テストは、学んだ成果を活かして解くことができたし、グループ活動も楽しんできた。大学に入って、たくさんの人と関わると思うので、コミュニケーションを取り、苦手な英語を克服する。

今回は、テストとグループでボードゲームをした。テストは前回より、長く書けた。英語は苦手だが、今回のように楽しみながらやるとやる気ができるし、英語が少し好きになった。得意になるようにもっと勉強していきたい。

先輩学生が考案したボードゲームに挑戦した。クオリティが高く、どのゲームも楽しかった。大学の授業は、自分で考えることが何よりも重要なんだと分かった。

テストでは、前回より良くできたと思う。グループでボードゲームをして、楽しかった。コミュニケーションの取り方、グループ活動など、大学に入学してからの学習に活かしていきたい。

英語の説明書を読みながら、ボードゲームをグループで協力してやり、楽しみながら英語を学ぶことができた。スピーキング活動でやったので、初日にやったテストより、ライティングはよくできたと思う。Have been ~ing の文法を深く理解することができた。

先輩学生が作成したボードゲームに挑戦したのだが、英語だけで書かれた説明書の読解が難しかった。

今日は、英語のテストを受けたのですが、初回のテストよりも、問題が解けたので良かったです。その後は、先輩学生が作ったゲームを実際にやってみて、班の人たちと交流を深めることができました。入学して、英語の授業で、このように学べることを知ったことは、大きな収穫でした。

今日は、最終テストで前回よりよくできたので、とてもうれしいです。グループ内で英語のボードゲームをして、みんなで楽しむことができました。入学前に、出身高以外の人たちと英語の学習を通して、交流できたことはとてもよかったと思います。入学前の英語の授業に対する不安がなくなり、楽しみにもなりました。

テスト後、学生が考案した英語のボードゲームをしました。英語でルールの説明が書かれていたので、難しいゲームもあれば、シンプルなゲームもあって、幅広く楽しむことができました。英語の勉強をしながら、ゲームでグループ内の交流もでき、こんな楽しい英語の学び方もあるのだと思いました。

ボードゲームが、めちゃ楽しかった。名桜大学に入学したら、わたしもボードゲームを作らないといけないから、ちゃんとした文法を使ってゲームを作りたいなと思いました。

グループ内で、ボードゲームをして、メンバーと交流して、自然に仲良くなれた。英語だけで書かれた説明書の読解がうまくできなかつたので、英文に慣れて、読み書きができるようになりたいと思った。

英語のボードゲームをやってみて、勉強のための英語ではなく、言葉としての英語に触れる活動で、本当に、楽しみながら学習できた。テストも、初日のテストよりできたし、特にライティングはとてよかったと思う。講座には、リスニング、リーディング、コミュニケーション活動などが、取り入れられていて、机で勉強するだけではなかつたのがとてよかったと思います。

5. 授業後の考察と今後の課題

この入学前特別英語講座では、受講生に大学レベルの英語の授業を体験させる機会を与えることに、目標をシフトしたことが、従来からの転換点となりました。これにより、受講生は、特にリスニングスキルに関して、大学の授業の難易度の変化を広く認識しました。多くの受講性が、リスニングセクションが難しく、リスニングスキルを向上させる必要があることを認識したと振り返りの中で述べています。これにより、学年の初期段階で求められるリスニングスキルのレベルに驚く学生が減り、よりよい準備ができると期待されます。学生たちはまた、ペアワーク活動についても多く言及しました。これは高校の英語からの転換点です。大学の英語の授業では、言語スキルのバランスがより均等で、アウトプット（話すことと書くこと）の要件が高い傾向があるからです。大学の授業をできるだけ再現する努力はしましたが、うまくいかなかった点は、授業のペースでした。多くのアクティビティを完了するのに予想よりもかなり長い時間がかかりました。これは、学生がそのような授業の形式に慣れていないこと、グループのメンバーに慣れていないこと、そして慣れない状況から感じた不安によるものかもしれません。しかし、入学後に向けてよりよい準備をするために、大学の授業の実際のペースを体験することは、学生たちにとってより有益だったかもしれません。

今回の入学前特別講座を振り返り、反省点が2つあります。まず、3回目の講座で行ったボードゲームの活動についてです。ボードゲームは、英語コミュニケーションコースの本学の学生が作成したもので、各ゲームに付属する説明小冊子や説明ビデオはすべて英語で書かれています。この活動は学生にとって楽しく、非常にやる気を起こさせるものでしたが、英語で書かれた資料を理解するのが難しかったため、受講生にとって、意図したよりもやや難しくなっていました。2点目に、LLC チューターを十分に確保できなかったことです。受講生とチューター・教師の比率は、およそ12対1で、チューターはグループ間を頻繁に移動しなければならず、そのために、受講生とチューター間の交流の機会が減ってしまいました。同じチューターが、各グループに固定できると、受講生はよりリラックスしてコミュニケーションが取れ、質問もしやすくなり、理解も深まると考えられます。

上記の反省点を踏まえ、今後の入学前ワークショップの英語講座で考慮すべき事項として、以下のことに、取り組みたいと思います。

- ① 英語講座の現在の焦点を維持し、入学前受講生に大学レベルの英語の授業を模擬体験させ、入学後の英語学習に向けて、心理的に安心して準備できるようにする。
- ② 体験型クラスでは、4つの言語スキル(聞く、読む、話す、書く)すべてを取り入れる。
- ③ 英語講座の目標を達成するには、90分間の講座を3回行うことで十分だと考えられるので、講座の時間(従来の150分)を検討する。
- ④ ボードゲームは、英語コミュニケーションの授業において興味深く、非常にやる気を起こさせる要素ではあるが、より慎重に準備して実施するように工夫する。あるいは、英語コミュニケーションの別の活動を取り入れるべきか検討する。
- ④ LLCチューターをできるだけ多く確保する。入学前講座について、言語習得センター年間スケジュールに明記し、これまでよりも早めに知らせる。

2024

Pre-Enrolment Workshop English Session Report

Reporter: _____

On February 12th to 17th of this year the pre-enrolment workshop was held. This included three English class sessions. The goal of these sessions was to give students the opportunity to experience a Basic English lesson, and aspects of an English Communication lesson as it will be taught during their first year at Meio University. This included the use of one unit from the textbook that students will use in the coming academic year (Smart Choice 3), and classes being conducted in largely the same manner as a normal university English class. LLC tutors were present to support students. All materials were provided to students. This approach was chosen because (a) the limited time did not allow for the review of any meaningful amount of English covered in high school, (b) this approach aligned with the goals of the pre-enrolment workshop as a whole, and (c) having a good idea of the nature (amount of English used, pace, kinds of activities) of English classes at the university level and what is expected of students will allow students to better prepare for the coming academic year, and feel more comfortable in English classes.

1. Schedule and Attendance

1.1 The schedule for English classes was as follows:

Date	Time	Main Activity	Notes
Feb. 12th	60 minutes	Pre-test	
Feb. 13th	60 minutes	Basic English Class 1 (Smart Choice 3, p.4 - 5)	3 LLC tutors present
Feb. 14th	150 minutes	Basic English Class 2 (Smart Choice 3, p.6 - 7)	4 LLC tutors present
Feb. 17th	150 minutes	Post-test, English Communication board games	

1.2 The attendance (73 students)

Feb. 12th 69 (94.5%) Feb. 13th 65(89.0%) Feb. 14th 64(87.6%) Feb. 17th 55(75.3%)

2. Content

2.1 Pre- and Post-Test

A pre- and post-test was administered to ascertain the effectiveness of the pre-enrolment workshop with regards to the instruction of a single unit of Smart Choice 3. The test centred around a single grammar point (present perfect continuous tense), a set of vocabulary (free-time activities) and the use of these language items in the form of a writing question. Both the pre- and post-test were administered using Google Forms. The tests followed the same format, consisting of five sections, as follows:

Section	Questions	Format
Listening	5	multiple choice
Vocabulary	10	
Grammar	10	
Reading	10	
Writing	100-150 words	written

3.2 Basic English and English Communication Classes

The “Basic English” classes consisted of a simulated university level English class as the students will experience once the students enter Meio University. In the first class (February 13th) the activities used in class included: (a) self-introductions, (b) warm-up activity and small talk, (c) textbook activities, (d) video recording a conversation, and (e) a review of the grammar (present perfect continuous tense). The second class (February 14th) included (a) a warmup activity, (b) grammar practice activities, and (c) listening activities, and (d) an information gap speaking activity. The second day was intended to include a reading activity, but the students took longer than expected to complete the grammar, and information gap activities, and it was subsequently decided that the reading activity would be omitted. Other activities were planned in-case the students finished faster than expected, but these activities were also not needed.



Images: Basic English classes assisted by tutors and teachers.

In the third class, the students completed the post-test, and were introduced to English Communication. In English Communication, freshmen complete a number of projects, including designing and making an original board game. During this lesson, students played some of the board games made by freshmen in preceding years. The instruction videos and explanations of how to play the games are all made in English. This was intended to give the students an idea of what English Communication classes will be like. The students also completed reflections after the second and third classes.



Images: Students playing board games in English Communication class.

3. Results

3.1 Pre- and Post-Test Results

The results of the tests are divided into two parts; the scores from the multiple-choice sections can be directly compared to ascertain improvement, and the written questions can be compared in terms of the word count which is representative of the students understanding of the vocabulary and grammar they learned in the Basic English classes. The results for the multiple-choice section is as follows:

Section	Focus	Total	Pre-test	Post-test	Score Increase	Improvement
1	Listening	5	3.2	2.7	-0.5	-10%
2	Vocabulary	10	5.1	6.4	1.3	13%
3	Grammar	10	5.2	7.1	1.9	19%
4	Reading	5	2.5	2.7	0.2	2%

The results show an increase in most areas consistent with what would be expected, particularly in the grammar and vocabulary sections. The decrease in the listening section is minor, and can be explained by the variance in question difficulty between the pre- and post-tests. The lack of improvement in the reading section is more difficult to account for, but may also be explained by the variance in question difficulty. It is also worth noting that the listening and reading sections contained less questions, making any variance appear larger than it would in other sections. The results of the writing section are as follows:

Section	Focus	Total	Pre-test	Post-test	Count Increase	Improvement
5	Writing	100-150	43.3	55.2	11.9	7.9%

The average word count for the writing section increase by 11.9 words. This is a small increase, but expected given that the lessons did not include any direct writing instruction. What is of more interest is the number of students who did not attempt the writing section. In the pre-test the number of non-completions for the writing section was 8, and in the post-test, there was only 1 non-completion.

4. Reflections

Students were asked to complete reflections at the end of the second and third sessions. The reflections asked students to consider four questions in their responses: “What did you do today?”, “How did you do?”, “What did you think of the lesson?”, “What could you do better next time?”. These questions were intended to elicit information that could be useful in understanding what aspects of the class the students found difficult, what aspects of the classes they

found engaging, and what the students thought they needed to improve upon. Selected reflections completed by the students are included below. The selected reflections are representative of the general attitude and opinions of the students as a whole.

Today, we studied the grammar of the present perfect progressive tense, and did listening and speaking activities. Both activities were difficult, but I'm glad that we were able to do them in groups and pairs, helping each other out. After today's class, I realised that I am particularly bad at listening.

Today we did listening activities and pair learning. I was able to understand most of the listening, but it was quite difficult. It was also difficult to ask questions and converse in English. I was glad that I was able to proactively ask my friends and the tutor about the parts I didn't understand. I would like to actively participate in the next class as well.

I was able to deepen my understanding of the present perfect tense. I tried to be more proactive in speaking to people. I want to make more questions using the present perfect tense and be more proactive in speaking English. It was difficult, but fun.

I studied and reviewed the present perfect progressive tense. I found it difficult to do longer listening, so I want to try harder. I'm glad I was able to study with my partner. Next time, I want to be able to solve the problems faster.

Today I was able to learn about the present perfect progressive tense. It was fun because we worked together as a pair. I understood and used the present perfect progressive tense, and realised that it can be applied to various situations, so I would like to use it in my daily life. I want to listen more carefully and take more lectures at university.

It was difficult and I couldn't do it at all by myself, but next time I'd like to be able to do it by myself.

I listened in English. It is very difficult. I think it is important to communicate with a partner. Speaking English is fun! (written in English)

I listened to the conversation in Smart Choice Unit 1 and talked with my partner. Listening is very difficult. I want to play games in English. (written in English)

...have been ~ ing . In pair learning, we were able to practice asking each other questions and answering. In the listening activity, although I could hear some words, I didn't understand the content as a whole, so it was difficult. I wasn't good at reading either. I want to improve my listening and reading skills.

I listened to the listening section three times, but it was still difficult to understand. In the information gap activity for Student A and B , we were able to use the present perfect progressive tense that we had learned and work together with our partners to complete the sentences, discussing ways to say them. I wish I could talk more with my group members.

Today, I was able to ask questions in English, read sentences, and ask grammar questions about the present perfect progressive tense, so I was able to get a lot of exposure to English, which was good. I didn't know how to ask questions to the other person, so next time I'd like to be able to ask questions well.

In this lecture, I was able to improve my comprehension by solving problems while listening. In pair work, I was able to actually use the grammar I learned today. It was difficult to understand long conversations.

I was able to ask and answer questions about what I've been doing recently using " have been ~ ing" . It was fun. It was difficult to know how to ask questions, but I got it done. I think that understanding "have been ~ ing" will broaden the scope of conversation and is a useful expression.

Have been ~ing I was able to review the grammar, but I was worried that I would confuse it with other grammar, so I would like to solve the problems while marking the points. Also, through pair work, I was able to teach each other and ask and answer questions.

Have been ~ing I learned grammar and how to use it. Listening was especially difficult. Through conversation with a partner, students solved problems and deepened their understanding.

There were some parts I didn't understand during the listening section, but I was glad that I was able to resolve them through pair activities. I'm glad that my teachers and seniors taught me kindly.

Pair work and listening was a lot of fun. The pair work went well.

I exchanged information with my partner and taught each other through Personal Profiles (Smart Talk) activities. I enjoyed having fun conversations in English and Japanese. I want to be able to speak English fluently like I did today. I want to be able to speak more using the present perfect tense that I learned today.

I was able to study and solve problems while working together in pairs. I got sleepy during the listening part and couldn't concentrate, so I want to try not to lose concentration at all times. I found it difficult, but I didn't give up and solved the problems, and I enjoyed learning English.

Today, I took tests on the present perfect grammar I learned over the past two days, as well as listening and writing. In the second half, I played a board game created by students in the English Communication class at Meio University. I was able to solve the test by utilizing what I learned, and I also enjoyed the group activities. I think I will be interacting with many people when I enter university, so I will communicate with them and overcome my weakness in English.

This time, I took a test and played a board game in a group. I was able to write a longer test than last time. I'm not good at English, but when I have fun doing it like this time, I get motivated and I like English a little more. I want to study more so that I can become good at it.

I tried playing board games invented by senior students. They were all high quality and fun. I realized that thinking for yourself is the most important thing in university classes.

I think I did better on the test than last time. I had fun playing board games in groups. I want to use what I learned in my studies after entering university, such as how to communicate and participate in group activities.

We played board games in groups while reading the English instructions, and had fun learning English. Since we did it as a speaking activity, I think we did better in writing than in the test we took on the first day. I was able to gain a deeper understanding of grammar.

I tried playing a board game created by a senior student, but found it difficult to understand the instructions, which were written only in English.

Today, I took an English test, and I was glad that I was able to solve the problems better than the first time. After that, I actually played a game made by a senior student, and was able to deepen my interactions with the people in my group. It was a great learning experience for me to know that I could learn in this way in English classes after entering the school.

I am very happy that I did better on the final test today than last time. We played English board games in groups and had fun together. I think it was great to be able to interact with people from other high schools through English study before entering the school. I no longer feel anxious about English classes before entering the school, and I am looking forward to it.

After the test, we played board games in English that the students had invented. The rules were written in English, so we had fun playing a wide variety of games, from difficult to simple. We were able to interact with the group while studying English, and I realized that there was a fun way to learn English.

Board games were a lot of fun. When I entered Meio University, I had to make board games, so I wanted to try making a game using proper grammar.

I played board games in the group and interacted with the other members, and naturally became friends with them. I had difficulty reading and understanding the instructions written only in English, so I wanted to get used to reading and writing English.

I played English board games and really enjoyed learning English as a language, not just for studying. I did better on the test than I did on the first day, and I think my writing was especially good. The course included listening, reading, and communication activities, so I really liked that it wasn't just about studying at a desk.

5. Discussion and Recommendations

This pre-enrolment workshop represented a departure from previous years as the goal shifted from teaching students, to giving them an opportunity to experience a university level English class so that they may more effectively anticipate what will be expected of them in the coming academic year, and allow them to prepare appropriately. This seems to be of benefit as students broadly recognised the change in difficulty in university classes, especially in regard to listening skills. Many students mentioned in their reflections that the listening sections were difficult, and recognised a need to improve their listening skills. This will hopefully lead to fewer students being shocked at the level of listening skills required in the initial stages of the academic year, and allow them to better prepare for this. The students also made frequent mention of the pair-work activities. This is a departure from high school English, as university English lessons tend to include a more even balance of language skills, and have higher output (speaking and writing) requirements. One concern raised by the instructors, was the pace of the lessons. While efforts were made to closely simulate a university class, including the pacing of the lesson, the students took substantially more time to complete many of the activities than was expected. The instructors therefore slowed down the lesson, taking additional time to complete activities. This could be due to their unfamiliarity with the format of such a lesson, their unfamiliarity with their group members, and the apprehension they may have felt from being in an unfamiliar situation. Nevertheless, it might have been more beneficial for them to experience the actual pace of a university class so as to better prepare them for the coming academic year.

There are two main areas that failed to meet the expectations of the instructors. Firstly, in the third session, students played board games made by freshmen in the English Communication course. While this activity was fun and highly motivational for students, the difficulty they experienced in understanding the instructional booklets and videos which accompany each game made the activity somewhat more difficult than intended. The games chosen were those that were judged to be the most fun games by the freshmen classes that made them, but were not necessarily the easiest to understand. Secondly, the number of LLC tutors that were present in the English sessions was not enough. The ratio of students to tutor/teacher was roughly 12 to 1. This meant that tutors needed to rotate constantly between groups, unable to spend much time with any group. This is evident in the student reflections, as in previous years students had mentioned the LLC tutors and how helpful they were, but this time little to no mention was made of the LLC tutors despite their great efforts to assist the students in all activities.

To this end, the following recommendations can be offered for considerations in the English sessions in future pre-enrolment workshops:

1. It would be advisable to maintain the current focus of the English sessions. Giving students a simulated experience of a university level English class, allowing them to prepare themselves mentally for the upcoming academic year.
2. Make efforts to include all four language skills in the experiential classes (listening, reading, speaking and writing).
3. Consideration should be given to the length of the sessions. Three 90 minute sessions is adequate to achieve the goals for the English sessions.
4. The board games, while an interesting and highly motivational aspect of English Communication classes, need to be more carefully prepared implemented. Alternatively, a different aspect of English Communication should be included.
5. An effort should be made to include as many LLC tutors as possible. Informing the LLC of the need for tutors further in advance than was done (about 1 week prior) will help in this regard.

Overall, the English sessions achieved their goals in most regards, and it is hoped that the students found value in the English sessions.